

登録コード	L1541202		開講年度	2026			
担当教員	高瀬 弘樹			副担当			
授業科目	心理学特殊実験						
英文授業名	Psychology: Advanced Experiments						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・1時限 水曜・2時限
講義室	人文501演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			これまでの心理学研究で得られた知見に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力を身につけられる。			
	【2022年度以前加付対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			心理学研究の過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力を身につけられる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につけている。 【思索力・受容力・批判力】			人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力を身につけられる。			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につけている。 【開拓力・企画発想能力】			専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力を身につけられる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	各受講生が研究テーマを決定するため、それに関連する文献の講読・発表を行ない、それらをもとに各自の実験・調査の計画を立て、仮説検証的に実験・調査を行ないデータを取得し、それを論文としてまとめ、最終的にその論文について発表を行い討論する。 なお、受講生は授業時間以外にも適宜に教員の指導を受ける。						
授業計画	1. ガイダンス 2. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (1) 3. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (2) 4. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (3) 5. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (4) 6. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (5) 7. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (6) 8. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (7) 9. 心理学特殊実験 で立案した研究計画書に基づいた実験・調査の実施, および進捗状況の報告 (8) 10. 研究論文の提出 11. 研究論文の発表・議論, および追加の実験・分析等の実施 (1) 12. 研究論文の発表・議論, および追加の実験・分析等の実施 (2) 13. 研究論文の発表・議論, および追加の実験・分析等の実施 (3) 14. 研究論文の再提出 15. 研究発表会・まとめ, 授業アンケート 定期試験: なし						
成績評価の方法	授業への積極的参加と発表 (50%), 論文の質と発表 (50%) の比率で, 心理学における実証科学的手法を体得したかを評価する。						
成績評価の基準	論文及び発表について, 「問題・目的」「方法」「結果」「考察」「引用文献」のそれぞれが明確に項目立てされており, 各項目について以下のような内容が記述されていることが必要である。また, 実験の結果が仮説通り, もしくはほぼ仮説通りであることが望まれる。 1. 研究内容にオリジナリティがある 2. 問題・目的で, 当該論文で何を問題・目的とするのかが明確に記述されている 3. 方法で, 実験・調査の対象, 材料, 手続き等の要点がもれなく記述されている 4. 結果が, 実験・調査の結果について事実即して忠実に記述されている 5. 考察で, 得られた結果が論理的に解釈され, 結論に至るまでの過程が記述されている 6. 引用文献が, 所定の表記法 (手引き参照) で記述されている 7. 実験の結果が仮説通り, もしくはほぼ仮説通りである 1から7までの全項目を満たしていれば「卓越している」, 6項目ができていれば「かなり上にある」, 5項目ができていれば「やや上にある」, 4項目ができていれば「その水準にある」と評価する。						
事前事後学習の内容	研究の進捗状況により, 授業時間以外にも, 実験の準備, 実験, データ分析等を行う。また, 研究の進捗状況を随時eALPSまたはMicrosoft Teamsに記入し報告すること。						
履修上の注意	受講は「心理学基礎実験」及び「心理学特殊実験」を履修した者に限る。担当教員の研究室で卒業論文を書く予定の者は必ず履修する必要がある。						

質問、相談への対応	火曜日の12:30から13:20をオフィスアワーとする。研究室の場所は人文学部棟 5 階。 相談のある学生は、事前にメールにてアポを取る。アドレスは、takaseh (at) shinshu-u.ac.jp
教科書	・ 日本心理学会編著 (2022). 執筆・投稿の手びき (2022年版) < https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf > ・ 各自、自らの研究テーマに沿った論文を収集し、関連する最新の文献や書籍を随時チェックすること。
参考書	授業時に適宜紹介する。